

憩いのパークの魅力

名残の紅葉と晩秋の蓮池



◀過ぎゆく秋の公園で散歩を楽しませてはいかいですか

11月という、冬がすぐそこまで来ているように思われますが、古河公方公園では、まだまだ紅葉が楽しめます。

一言で紅葉といっても、生育条件や個体差によって同じ種類の木でも色づきに差が出ます。

秋の深まりが進む11月は、きれいに紅葉している木もあれば、早めに落葉した木の葉が地面に落ちた様子も味わい深いものがあります。赤や黄色の葉っぱを集めたり、どんぐりや松ぼっくりを集めたり、やわらかく積もった落ち葉をかき集め、思い切り投げても公園なら平気ですよ。

紅葉を楽しむ習慣は古く、平安のころから始まったとされ、和歌にも多く詠まれています。公園管理棟には、俳句の投句箱が設置されています。「一句ひねって」ぜひ、ご投句を。

そして、この時期の公園管

理の一つに、蓮池の冬支度ともいえる大賀蓮の枯れた茎や葉の刈り取り作業があります。

日によっては厳しい寒さの中、水に残る蓮池で、ひざ下まで潜りながら行う作業は、少しの移動にも苦勞するほどです。地中に残した蓮根から翌年伸びてくる新しい浮き葉・立ち葉の生育を邪魔しないようにするため、蓮池全体に再び美しい蓮の花を咲かせるためには欠かすことのできない重要な作業です。

大賀蓮の開花は6月下旬ごろ。来年も美しい花を咲かせてくれることでしょう。

【問】古河公方公園管理棟

☎47-1129



▲枯れ蓮の刈り取り作業



表紙写真



リオデジャネイロオリンピックに体操男子の代表選手に選出され、団体で金メダルを獲得した山室光史選手(コナミスポーツクラブ所属)。今年の夏、古河市に明るいニュースを届けてくれました。

山室選手が小学生のときに誓った「オリンピックに必ず出る」という夢。その夢をかなえ、ロンドン・リオと2大会連続出場を果たしました。

9月21日の感謝状贈呈式で「楽しいことも苦しいこともいっぱいあります。それでも夢はかなうと思います。夢を信じてがんばってもらいたい」と、子どもたちにエールを送った山室選手。夢と感動をありがとうございました！

古河市データ

人口

(10月1日現在) 住民基本台帳から
総人口 144,394人 (+56)
男 72,628人 (+3)
女 71,766人 (+53)
世帯数 59,484世帯 (+63)
() 内は前月比